

# 日本投資促進フェア盛況

北京市人民政府、(朝日中経済協会主催の「北京―日本投資促進フェア」が第4回を迎え24日、東京都千代田区のグラントプリンスホテル赤坂で、26日に大阪帝國ホテル大阪)でそれぞれ開催された。



陸奥副市長



正山四郎氏

北京市人民政府副市長・陸奥氏は基調講演の中で「オリンピック開催まで1年を切ったが、北京の経済

成長のメカニズムは、来年のオリンピックに帰結する。今はオリンピック後の成長のプロセスの一部である。88年ソウルオリンピック後の経済下落のようなことはないであろう。北京は中国市場の中心地であり、大いに注目してほしい。今

## 北京オリンピック控え、陸奥副市長来日

後はハイテク農業、ハイテク産業が有望であり、着々と推進している。1700万人の北京はハイレベルなニーズがあり、健康志向も高い」と語った。また、同フェアの食品産業分科会でプレゼンテーションした、京日グループ総

裁(東京国際貿易(株)社長)の正山四郎氏は「中国で、今や7万5000tの餡を生産するまでになった。25億円を投資した北京京日東大食品の新工場は世界一の

本市場で開拓してきたことが当社の自信であり、評価であると認識している」とことを強調し、「食品事業は人を育てることが重要。中国は広いし、方言も多い。その中で農民との親身な付き合いが、トニーサンリテイー構築につながる。当社においては、社員食堂も教育の場である。栄養バランス

の良いメニュー提供と、食べ残さない量を各自が取るなど徹底している。社員の教育には「愛」をもって望むことが大事。心身ともに清潔なが、良い食品を作り、人に喜ばれる」と、食品ビジネス成功の秘訣を語り、「中国で成功するには、競争力の高い廠しいるところを選ばなければならぬ。北京は投資する価値がある。ぜひ、当社の工場を見てほしい」と呼びかけた。(田村幸治)